

日本共産党 区議会議員



石田 ちひろ

日本共産党品川議会控室 TEL 03-5742-6818
すずらん通り事務所 TEL 03-5462-2133

2012年1月1日
ちひろニュースNo.27

暮らし応援の政治に！



昨年4月の選挙で議員となり、9か月。短い中でも、地域のみなさんと願いを実現させるため頑張ってきました。その中で、力を合わせれば変えられることを実感してきました。

暮らしをより良いものにするための政治が、苦しめる政治になっている今、今年もさらなる負担増が計画されています。みなさんと力を合わせ、暮らしを守る政治こそ必要だと、議会でも頑張ります！

暮らしの不安に伝える共産党

昨年は、大震災後に区議会議員選挙があり、政治のありかたが問われました。

被災地から品川に避難してきた方の生活確保や、被災地ボランティアにも参加し、救援・復興に力を注いできました。みんなが助け合うのと同じ時に、政治の力が今こそ必要な時はないと感じてきました。しかし現地では、政治にあきらめてる方も多く、政権交代したにも関わらず「国民不在」が続く政治に怒りを感じました。

さらに原発の事故は、品川でも多くの不安を広げました。当初は議会で放射能や原発の質問をするのは共産党だけでした。「考えすぎだ」「国が決める問題だ」とヤジも飛び、中、区民の願いを背に受けて論戦をしてきました。

小さな子どもを持つパパやママとの共同も広がり、区は「やらない」と言っていた給食食材の放射能測定やホット

被災地ボランティア。側溝の泥だし作業。



スポットの測定も始まりました。区政を動かしたと実感しました。

大震災を経験し、日ごろから医療も介護も充実してこそ、いざという時、命を守れると学びました。国保料を上げ、介護保険料も上げ、仕事もない、その上消費税増税：暮らしがいていけないと悲痛な叫びがあがっています。

いのちと暮らしを最優先にした政治こそ品川で！今年もみなさんと力合わせ、全力で頑張ります。